

令和3年度使用中学校用教科用図書選定一覧

種 目	発行者番号	発行者名	教 科 書 名
国 語	3 8	光 村	国語 (1～3)
書 写	3 8	光 村	中学書写 一・二・三年
社会 (地理)	2	東 書	新しい社会 地理
社会 (歴史)	1 1 6	日 文	中学社会 歴史的分野
社会 (公民)	1 1 6	日 文	中学社会 公民的分野
地 図	4 6	帝 国	中学校社会科地図
数 学	6 1	啓林館	未来へひろがる 数学 (1～3)
理 科	6 1	啓林館	未来へひろがる サイエンス (1～3)
音楽 (一般)	1 7	教 出	中学音楽 (1、2・3上、2・3下) 音楽のおくりもの
音楽 (器楽)	2 7	教 芸	中学生の器楽
美 術	1 1 6	日 文	美術 (1、2・3上、2・3下)
保 健 体 育	2	東 書	新しい保健体育
技 術	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
家 庭	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
英 語	9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE (1～3)
道 徳	3 8	光 村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき (1～3)

(注) 発行者名は略称とする。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【国語】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 国語科の目標を達成するために、教材を「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成するなど、習得した「知識及び技能」を活用して「思考・判断・表現」を繰り返すことができるような構成の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びが展開できるように、「学習の窓」で図解入りの解説を用いて汎用的な読みのポイントを分かりやすくするなどの工夫をしている。
- 「学習の窓」で「学習で用いる言葉」を説明し、生徒が学習用語を使用語彙として蓄積できるようにするなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 巻頭資料「思考の地図」は国語のみならず様々な教科等で活用でき、自分の地域の課題について深く考え、解決に向け自分なりに実行していく力の育成につながる。
- 読書案内のページが充実しており、本地区の読書活動の充実につながる。
- 生徒が、これまでの学びや経験を生かしやすいように、関連する既習事項を提示し、領域を越えて学びをつないだり生かしたりできる場面を提示することで学ぶ目的を明確にし、意欲を高める工夫をしている。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、地域の職業や話題等について情報を集め、紙面にまとめたり意見文を書いたりしながら、地域について知ったり考えたりすることができるようになっている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【書写】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成に関しては、学習の流れを「考える」「確かめる」「生かす」などの段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる
- 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「文字を使い分ける」等を用いて、文字への関心を高めようとする工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性については、毛筆教材の手本の右上に穂先の動きを示したり、文字の中心に印をつけることで配置を意識させたりするなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、毛筆での学びを「書写ブック」を用いて硬筆で書く活動につなげ、日常生活に生かせるような工夫が見られる。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、歴史的建造物の文字を紹介し、身の回りにある様々な文字に関心が向くように工夫されている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（地理的分野）】

1 採択教科用図書

- 東京書籍

2 採択理由

(1) 東京書籍は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 章の構成を探究的な流れにし、見開きページごとに、学習課題設定、追究、解決、そして章末で基礎・基本をまとめるような構成・配列の工夫が見られる。
- 知識・技能習得のために「スキル・アップ」や「基礎・基本のまとめ」を設けるとともに、思考力等を育成するために「みんなでチャレンジ」を設け、そこで思考ツールを示すなどの工夫が見られる。
- 「関連マーク」で学習内容の関連性・系統性を意識したり、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。

(2) 東京書籍は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 自分の住む地域と関連付けて防災について考えていけるよう、防災マップや自主防災組織の活動を調査させるページが設定されている。
- 「まとめの活動」の一環として持続可能な地域像を考えさせながら、自分たちの郷土に関する学習につなげていけるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、東京書籍の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（歴史的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 歴史的分野の目標を達成するために、編の構成は時代の特色を理解できるような流れにし、1単位時間ごとの学習課題を設定した上で、理解を深めたり、確かめたりできる構成・配列の工夫が見られる。
- 知識や技能の習得を図るために「学習の整理と活用」を設けたり、思考力等を育成するために時代の特色を考えることができる「アクティビティ」を設けたりする工夫が見られる。
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れて見出しやページを示す箇所の色を統一したり、インターネットのデジタル資料を活用した学習ができたりする工夫が見られる。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 「先人に学ぶ」を設け、現代と歴史とを関連づけて考えながら、歴史を身近に感じることができるようにしている。
- 「でかけよう、地域調べ」の特設ページを設け、生徒が身近な地域の歴史を、手順を踏まえた学び方で学習できるように工夫している。
- 人権問題に関する記述が、影の部分だけでなく、当時の社会や文化を支えるなどの光の部分の記載がしっかりなされている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（公民的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成を探究的な流れにし、見開きページごとに学習課題設定、本文、そして最後に「確認」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
- 知識・技能習得のために「情報スキルアップ」コーナーを設けるとともに、思考力等を育成するために「学習の整理と活用」で深い学びをさせたり、様々な思考ツールを活用させたりする工夫が見られる。
- デジタルコンテンツ資料を活用した学習を行うことができる工夫が見られる。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 「明日に向かって」の特設ページにおいて写真やリード文を効果的に使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。
- 「まちづくりに参加しよう」というテーマを追究させることで、郷土のまちづくり等に関する参画型の学習に役立つような工夫が見られる。
- 本地区の生徒に伸ばしてほしい「主体性」や「比較する力」、「多面的に考える力」などの育成指導が行いやすいつくりになっている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【地図】

1 採択教科用図書

- 帝国書院

2 採択理由

(1) 帝国書院は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 社会科の目標を達成するために、地理的分野だけでなく歴史・公民的分野での活用度を高めるとともに、地理的分野の学習に合わせた構成にしている。
- 基本的な知識・技能の習得を図るために、「一般図」と「テーマ地図」をうまく組み合わせたり、思考力等を育成するために現代の社会問題に関する資料を載せたりする工夫が見られる。
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れて見出しを色分けしたり、インターネットを用いて動画や統計、主題図などが閲覧できたりする工夫が見られる。

(2) 帝国書院は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 地図帳の構成や地図の要素、地図の特長などを示し、生徒が地図に関心をもち、地図帳を使った調査ができるようにしている。
- 地図が大きくてきれいで見やすい上に、各ページに「地図活用」の欄を設けたり「学習課題」を提示したりするなど生徒が学びやすいように工夫をしている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、帝国書院の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【数学】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 数学科の目標を達成するために、内容を精選した章末問題「学びをたしかめよう」や個に応じて活用する「もっと練習しよう」等を設定し、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる題材である各節の導入「学習のとびら」を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めようとするなどの、構成・配列の工夫が見られる。
- 数学的な見方・考え方を働かせるためにキャラクターを配置し、問題を広げたり深めたりする視点を示すことで、自ら問題を見出す力を養えるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性を図るため、裏表紙の縦開きから始まる「自分から学ぼう編」を設定し、必修の部分と自分の興味に応じて取り組んでよい部分を明確にするとともに、生徒にとって分かりやすくするため、QRコードを掲載し、学習内容に関連した動画や詳しい解説を閲覧できるような工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- これまでの学びや経験を生かすことについては、「数学ライブラリー」「学びをいかそう」で、既習内容を身近な事象と関連付けて考察することを通して、興味・関心をもって主体的に取り組み、数学の有用性を実感するような工夫が見られる。
- 生徒一人一人の学力を身に付けさせるために、章末の「学びを確かめよう」で基本的な問題を解くことができ、巻末の「もっと練習しよう」では、つまづいた問題に対して、振り返って確認できるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【理科】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の導入では「学ぶ前にトライ！」で身のまわりの疑問について考えさせることで、生徒に単元の見通しをもたせるとともに、課題の把握から解決までの探究の流れの各段階が、1つの流れとして図や写真とともに視覚的に分かるように示されており、生徒が探究を意識して取り組めるような構成・配列等の工夫が見られる。
- 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元に「探Q実験・実習」を設けるとともに、対応する巻末冊子の「探Qシート」を活用することで、主体的・対話的に観察・実験の計画を立てたり、結果を整理し、分析・解釈したりできるようにするなどの工夫が見られる。
- 単元扉や章扉に大きな写真や図を配置したり、動画につながるQRコードを掲載したりして、生徒の学習内容への興味・関心や理解を高め、新たな気付きや疑問などをもちやすくするなどの工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 例えば天気に関する学習など、単元の構成・配列が、台風接近が多い本県の実態に合っている。また、本県に関連する資料の数も一番多い。
- 「部活ラボ、お料理ラボ」が示され、地域や日常生活と関連付けて考えられる工夫が見られる。
- 「防災減災ラボ」が示され、災害の経験から得た知恵を生かせる工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【音楽（一般）】

1 採択教科用図書

- 教育出版

2 採択理由

(1) 教育出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 全学年に領域・分野ごとに構成された「学びのユニット」が示され、学習のねらいに到達するための工夫が見られる。また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」を明記した学びの手がかりとなるヒントや、学びを深めるための曲や活動が示されており、系統的で主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。
- 全学年に「まなびリンク」「比べてみよう」「深めてみよう」が掲載され、学習の進め方が分かりやすく示されている。また、キャラクターの吹き出しに具体的な学習の進め方を載せたり、学習内容の後半にワークシートを設けたりして、「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫が見られる。
- 全学年の目次の右下に「まなびリンク」としてQRコードが掲載されており、範唱の音源や雅楽師などの範奏の視聴等ができるように工夫されている。

(2) 教育出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 民謡や歌舞伎、能、神楽、田植え歌等、県北地域にも関わりの深い伝統芸能や音楽が全学年にわたり紹介されている。特に、「かりぼし切り歌」は譜面やリズムが掲載され、「ひえつき節」も全国の民謡地図の中で紹介されている。
- 各芸能どうしの比較コーナーや体験コーナーの充実により、郷土の音楽や伝統芸能の理解を深め、愛着をもたせる工夫がなされている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、教育出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【音楽（器楽）】

1 採択教科用図書

- 教育芸術社

2 採択理由

(1) 教育芸術社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 楽器の基礎的な知識や奏法で演奏する曲をまとめた「アンサンブルセミナー」と、身に付けた奏法の活用をねらった「アンサンブル」や「楽器でMelody」が設けられるなどの構成・配列の工夫が見られる。また、我が国の伝統音楽については、口唱歌（唱歌）を取り入れたり、「演奏者からのメッセージ」を掲載したりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。
- 「アンサンブルセミナー」は「学習目標」「活動文」「深めよう！音楽」によって、見開きで学習を見通せる構成になっており、主体的に学び合う活動が展開できるように工夫されている。また、様々な演奏や動画等を視聴できるQRコードや協働的な活動が展開できる「深めよう！音楽」のページが設けられ、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫が見られる。
- 「各部の名称」「姿勢と構え方」等のコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、リコーダーの運指表のカラー掲載や替え指の紹介等、主体的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。

(2) 教育芸術社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本県出身のギタリストが紹介してあったり、県北地域の郷土芸能に関連深い篠笛や尺八、太鼓等について愛着をもたせる工夫がしてあったり、本地区の生徒にとって魅力的な構成になっている。
- 器楽の学習は技術的なことなど、生徒が新しいものに出会うことが多いが、本教科書はシンプルに教えやすい構成になっており、小規模校においても器楽の指導が行いやすい。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、教育芸術社の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【美術】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版社

2 採択理由

(1) 日本文教出版社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 中学3年間の美術科の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。
- 美術1の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。また、「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。
- 各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。また、題材の随所にQRコードを掲載し、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞することができるようにするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。

(2) 日本文教出版社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 美術館がほとんどない本地区において、鑑賞の充実は課題であるが、本教科書は3分冊になっており、見開きを使って大きく作品を見せ、折り曲げて立たせるなどの操作が設定されており、生徒の感性を揺さぶる鑑賞指導が行いやすい。
- 地域と関連付けて考えられるようにするために、「祭りを彩る造形」では、故郷復興プロジェクトを掲載するなど、社会の中の美術の働きについてより身近に感じさせる工夫がされている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版社の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【保健体育】

1 採択教科用図書

- 東京書籍

2 採択理由

(1) 東京書籍は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 学年ごとに「保健編」と「体育編」の章で構成されており、小單元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。
- 「課題の解決」では、問題解決的な学習を展開できるよう発問を設定し、情報の収集や資料、独自のコンテンツを基に考えたり、話し合ったりする活動により理解を深める工夫が見られる。また「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「活用する」「広げる」では、習得した知識・技能の活用や、学習したことを自他に当てはめ、再考するなど実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。
- 1単位時間の内容を見開き2ページに収め、統一された学習の流れのレイアウトとしている。特筆すべき点として、「キーワード」を1単位時間ごと及び巻末に掲載するとともに、技能のページを開設することで知識・技能の習得を促す工夫がなされている。

(2) 東京書籍は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 感染症対策について手洗いの様子の写真を掲載するなど丁寧に扱われている。
- 口絵の写真の掲載が充実しており、生徒の学習意欲を喚起する効果が期待できる。また、地元出身のスポーツ選手が掲載されており、生徒の興味が高まりやすい。
- 地域との連携の大切さや取組の具体例が掲載されており、地域の実態に応じて活用できる資料の工夫が見られる。
- 学習課題が生徒にとってわかりやすくなっている。自ら課題意識をもって調べていけるように、生徒に地域のことを調べさせたり、考えさせたりする設問の工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、東京書籍の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【技術・家庭（技術分野）】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

(1) 開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 生活や社会の中にある技術に気付かせながら知識・技能を習得させ、それらを生かしながら「課題設定→設計・製作等→評価」という系統立てた一連の流れで問題解決を図り、振り返りながら定着させるなど、構成・配列の工夫が見られる。
- 積極的に取り組める「導入課題」や、他者と関わりをもてる「実験」等を設定し「知識・技能」習得のために、身近なもの結びついた技術の解説により、原理等の理解につなげ、それらを生かした技能について説明し、「思考力・判断力・表現力等」育成のために、学習を見通せるような「問題解決の流れ」、既習内容を生かせるように関連項目を示すなどの工夫が見られる。
- 理解しやすいよう実際に作業をしているような大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視し、適切な場面で連携するために、「他教科」「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。

(2) 開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本地区でも多くの中学生がスマートフォンを所有するようになったが、スマートフォンやSNSの使い方に関する内容が充実している。
- 免許外の教員でも実技指導が行いやすいように、手元を大きく写した写真の掲載が充実している。
- 新しい知識の内容とこれまで伝統的に培ってきた知識がバランスよく掲載されている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【技術・家庭（家庭分野）】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

(1) 開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 章の初めに、「わたしの興味・関心」というページを設け、生活の中から問題を見出せるよう工夫するとともに、各単元を「本文」「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。
- 様々な場面において、写真や資料をもとに、話合いが展開できるような「話し合ってみよう」を設け、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。また、思考力・判断力・表現力等を育成するために、単元を通して考えることができるように小単元の初めの発問コーナーや「生活の課題と実践の進め方」「実践のまとめ方」のページがあるなどの工夫が見られる。
- 各章の扉となる「わたしの興味・関心」では、見開きを使って実物大写真を掲載し、視覚からも学習の動機付けが図れるような工夫が見られるほか、QRコードが小題材内に掲載してあり動画等を視聴して学習を進められるよう工夫されている。

(2) 開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本地区は、免許外で指導している教員が多いが、大きな写真が順番に示してあり専門外の教員でも指導がしやすい工夫がみられる。
- 親になったときの乳幼児とのかかわりが本地区においても課題であるが、子どもの表情の写真等を掲載し、子どもをどのように見守っていくかが指導しやすい。
- 郷土料理などの文化資料を掲載したり、バリアフリーやハザードマップづくりなど生活課題を提示したりするなどの工夫がみられる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【英語】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

(1) 開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 各Programを「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。次に、「Scenes」では、場面絵を用いて新出表現をまとめて導入したり、「Try」「Interact」「Our Project」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。
- 「世界の中の一市民」として豊かな心を育むための「SDGs」に関連した題材や、フィンランド訪問、海外の屋台料理などの異文化理解に関する題材などを用いる工夫がなされている。
- 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Word Web」や「Word Box」「Expression Box」、発音とつづりの関係を体系的に学ぶ「発音クリニック」など学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、表現するための技能を身に付ける「Steps」や、レッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「英語のしくみ」、本文の音声を読み込める「QRコード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。

(2) 開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 「英語のしくみ」において、学習した文法事項が視覚的に理解できるようまとめられており、それらを英文の中で確認するなど、基礎・基本の定着を図るよう考慮されている。
- 「Interact」においては、これまでに経験した中で、相手が驚くような経験について対話するなどの活動が設定されており、これまでの学びや経験を生かす工夫が見られる。
- 「Our Project」においては、地域を世界に発信する活動に取り組みせるなど、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるよう工夫がなされている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【道徳】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 1年間を3つのシーズンに分け、関連性の深い内容項目が有機的に結び付く教材を複数配置することで、生徒の成長や問題意識に寄り添いながら学びを深めることができる構成・配列の工夫が見られる。
- いじめ問題については、例えば「深めたいむ」において、日常に起こりがちな問題場面を取り上げることで、自己も他者も大切に生きることを考えさせ、情報モラルとも関連させるなど、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。また多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、全学年に「広げよう」を設け、一つの答えが出ない課題や、解決が難しい課題、生徒に考えてもらいたい現代的な課題を取り上げるなどの工夫が見られる。
- 巻頭に「道徳の授業を始めよう」、「どうやって学ぶの?」や「なぜ学ぶの?」を設け、学びを見通し、目的意識をもって授業に向かうことができるような工夫が見られる。また、「道徳の学びを振り返ろう」のページやポートフォリオ形式の「学びの記録」を巻末に設け、考えたことや感じたことを書き込ませていくことで、自ら考えを深めたり、成長を実感できる記録として活用したりできるなどの工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 家族愛をテーマとしたエッセイを教材として取り上げることで、家庭の役割や家族の一員としての自分の役割を考えることができるなど、自分と家族についての考えが深められるような工夫が見られる。
- 様々な地域や伝統文化に触れる教材を取り上げることで、多様な価値観に触れながら、地域の伝統文化のよさを大切にすることを育むことができるような工夫が見られる。
- 巻末にある、郷土玩具や世界遺産、偉人に関する資料を活用することにより、地域のよさに興味をもたせ、郷土の伝統文化に対する考えを深めることができるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。